



# せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号  
 <TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892  
 <MAIL> 現在使用できない状況です。申し訳ありません。  
 <HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

## 「あなたの手のぬくみ」

学校長 梅田 比奈子

新年度が始まって、約1ヶ月。1年生も少しずつ学校に慣れてきたようです。そして、他の学年も、その学年らしい活動が始まってきました。2年生は、1年生をリードして、学校探検。3年生は、まちにでかけて、いろいろなものを見つけてきました。4年生は、自転車での交通安全教室、5年生は初めての委員会活動、そして、6年生は全校のリーダーとして、様々な場面で活躍するとともに、修学旅行の準備を始めています。元気な子どもたちの笑顔が、学校中にあふれてきました。

朝、登校時に校門に立っていると「校長先生おはようございます。」「今日ね、〇〇を見つけたんだ。」など、挨拶はもちろん、話しかけてくれることも多くなってきました。明るい子どもたちの笑顔は、私はじめみんなに元気をくれます。そして、私と共に、挨拶をしているのが「おはようハッピースマイル委員会」のメンバーです。いつも、明るく、挨拶し、みんなとタッチして、一日のスタートを盛り上げてくれています。何だか、毎朝、とてもわくわくする気持ちがあふれてきます。

私は、子どもたちと手でタッチをすると、いつも谷川俊太郎の「生きる」という詩が心に浮かびます。この詩は、6年生の国語の教科書の最後の方に掲載されており、私の好きな詩のひとつです。卒業を前にした子どもたちと、詩から伝わることを考えたり、みんなで群読したりしました。そして、今までを振り返りつつ、未来に向かって「生きる」ことの意味を語り合いました。

「生きる」という詩の最後は、「あなたの手のぬくみ いのちということ」と結ばれています。そして、今、毎朝、子どもと手を触れるたびに、そのフレーズが、心の中を巡ります。と同時に、子どもたちの手の暖かさが、私の体の中に入ってきます。それは、「ぬくみ」と言う言葉にぴったり。そのあたたかさが、子どもたちの生命を感じさせてくれ、一人ひとりがかけがえのない存在であることを実感します。

学校は、一人ひとりの子どもが主人公です。それぞれの子どもの紡ぐ物語を豊かにしていきたいと、子どもたちの手のぬくみから、改めて思いを深くする日々です。

金沢区の花「牡丹」が綺麗に咲きました。



赤、ピンク、白とピンクの混ざったものなど・・・  
 瀬小の牡丹が咲いています。

牡丹の花言葉は、「風格」「富貴」「恥じらい」「人見知り」などだそうです。ひとつの花でもいくつかの花言葉があるというのは、一人の人には様々な良さがあるということにつながる気がします。ぜひ、学校にいらした時、ご覧になって下さい。